

新型コロナウイルス小児用ファイザー社ワクチン

接種(5~11歳)について



小児の予防接種については様々な情報が飛び交い、中にはワクチン不要論者からの誤った(あるいは不確かな)情報も含まれ、皆さん混乱していらっしゃるかと思いますが、最新の CDC のデータ(小児の接種者が 1000 万人を超える米国のデータ)では重症化(≡肺炎による入院)を防ぐ効果が約75%とされています。現在ではほとんど発生していない日本脳炎やポリオの予防接種をほとんどの皆さんが受けていることと比べると、今まさに小児の感染が主流となり保育園や小学校でのクラスターが頻発している状況で、それを予防できる新型コロナウイルスワクチンのためらうのは不合理であろうと考えます。

副反応の種類と頻度は下記の通りです。(2回目の方が、1回目より若干副反応がやすい)

症状	発現割合
注射部位の痛み・疲労感	50%以上
頭痛・注射部位の発赤や腫れ・筋肉痛	10~50%
下痢・発熱・関節痛・嘔吐	1~10%

*心筋炎はごくまれな副反応で、12歳以上に比べて発生頻度は低く、実際に新型コロナウイルスにかかった際に合併する心筋炎と比べるとごく軽度です。

★発熱・注射部位の痛み・頭痛の際は、普段使いなれた解熱鎮痛剤の使用をお勧めします(詳細はスタッフにお尋ねください)。